

平成27年10月23日

ふじみ野市長 高 畑 博 様

ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

会長 中 村 賢 一

ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について（一次答申）

平成27年7月31日付けふ改第163号で諮問のあった「ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定」について、当審議会は4回の会議を開催し、慎重に審議を重ねた結果「ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（本部案）」においては、概ね適当と認め、下記の意見を付して答申します。

記

1 少子高齢化・人口減少社会への的確な対応について

ふじみ野市の人口については、ふじみ野市人口ビジョンにおいて、人口動向分析をはじめとした人口の現状分析により、長期的には総人口が減少傾向に転じることが予測され、人口の変化が地域の将来に与える影響が示された。

この人口減少という課題に対し、その対応策として目指すべき将来の方向について、4つの視点「雇用の創出・地域産業の活性化」「定住・移住の促進」「結婚・出産・子育てへの支援」「時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るまちづくり」が示されている。この視点により、その具体的な施策を示した「ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、ふじみ野市総合戦略という。）」の施策を的確に実施することにより、ふじみ野市人口ビジョンに示された将来展望については、見込みのあるものと思われる。

首都圏という優位性を発揮し、魅力あるまちづくりを推進することで、都市間競争をリードする存在として、今後も安定した定住人口の確保をし、将来にわたって選ばれるまちとしての的確に施策を推進されたい。

2 ふじみ野市総合戦略の実効性について

ふじみ野市総合戦略においては、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）の考え方が示されているが、職員一人ひとりが市の課題に対する対応意識をしっかりと認

識した上で、施策の実施について検証し、効果的な施策展開を図られたい。

また、施策の展開に当たっては、情報を共有しながら、市民や関係団体などとの連携により実施されたい。

3 審議会委員の提案意見等について

ふじみ野市総合戦略の策定に当たっては、審議会委員それぞれの立場・視点から様々な意見提案があった。

意見提案の内容は「地域で高齢者が活躍できる」「空き店舗、空き家の有効活用」など、複数者からの共通する提案も多くあり、ふじみ野市総合戦略の施策・事業として組み入れられているところであるが、他にも様々な意見提案が挙げられたところである。

これらの意見提案については、今後、さらに市内において実現に向けた検討を行われたい。

4 「オールふじみ野」未来政策会議の提案について

「オールふじみ野」未来政策会議で提案された「まち・ひと・しごと創生」の施策案については、既に一部が、ふじみ野市総合戦略に反映されているところであるが、本取り組みにより提案された施策がさらに効果的な展開となるよう、今後実施される「公開討論会」での意見なども反映することで、より実効性が高い施策として展開できるようお願いしたい。

5 ふじみ野市役所としての取り組み

今後、日本全体が人口減少に直面するという現実を踏まえ、ふじみ野市民のために持続的な行政サービスを維持するためには市役所のみならず、民間事業者、地域住民、各種団体、大学等が相互に協力し合ってまちづくりをしていくことが求められている。市役所は公共サービス主体者から公共サービスをマネジメントする立場への変革が必要である。

ふじみ野市自らが地方創生のリーダーとして、全国に先駆けて積極的に変革をしていくことにより、地域そのものが変わっていくことにもつながると期待される。

地域力の向上のために「共助型信頼のコミュニティ」を作り、まちに新産業の芽を作るために「地域オンリーワン」を目指し、訪れたいまち・暮らしたいまちにするための「豊かで安心なまちづくり」のために、ふじみ野市総合戦略の着実な推進に取り組んでいただきたい。